



公益社団法人

東京都理学療法士協会

理学療法士（PT）等 リハビリテーション専門職の 世田谷区における取組み

東京都理学療法士協会世田谷支部長

株式会社りはっぴい

鹿島 雄志（理学療法士）

東京都理学療法士協会 世田谷支部（世田谷PT支部）とは

- 組織：（公社）東京都理学療法士協会－地域活性局－
区西南部・西部ブロック－世田谷支部
- 設立：平成28（2016）年度；第7期高齢者保健福祉・介護事業
計画（2018－2020年）
- 目的：第7期同計画で求められる市区町村における『地域包括
ケアシステムの推進』に対して、市区町村のニーズに合
わせた柔軟な理学療法士活動を可能にするため設立
- 2025年問題：2018-2023年の第7期・8期は団塊の世代が
75歳（後期高齢者）となるまでの準備期間の側面

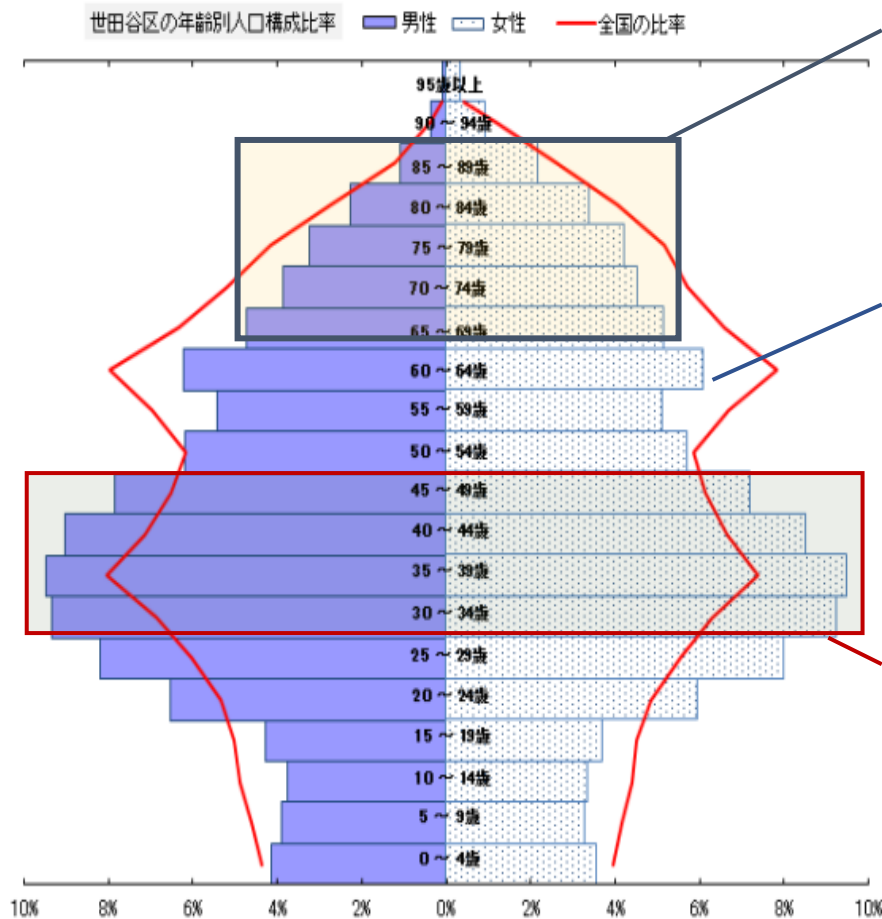


公益社団法人

東京都理学療法士協会

2025年問題から2040年問題へ

図表 18 人口ピラミッド 世田谷区と全国との比較



平成22年国勢調査データ
『世田谷区データブック1』より抜粋

現在の主たる
介護保険利用者層
現80歳以上

- 医療の利用は75歳
- 介護保険の利用は80歳

団塊の世代
(現75歳前後)
第7期計画の対象
2025年問題

- **フレイル発現の延伸**
- 早めの窓口支援

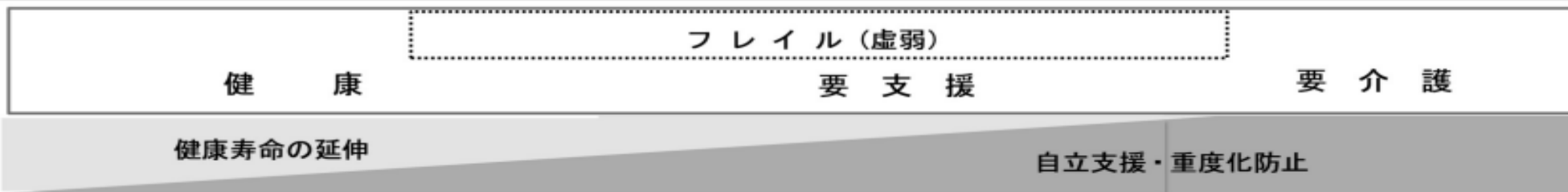
次のターゲット
現45~60歳
人数が多い!
2040年問題

- **健康寿命の延伸**
生活習慣病・骨関節疾患

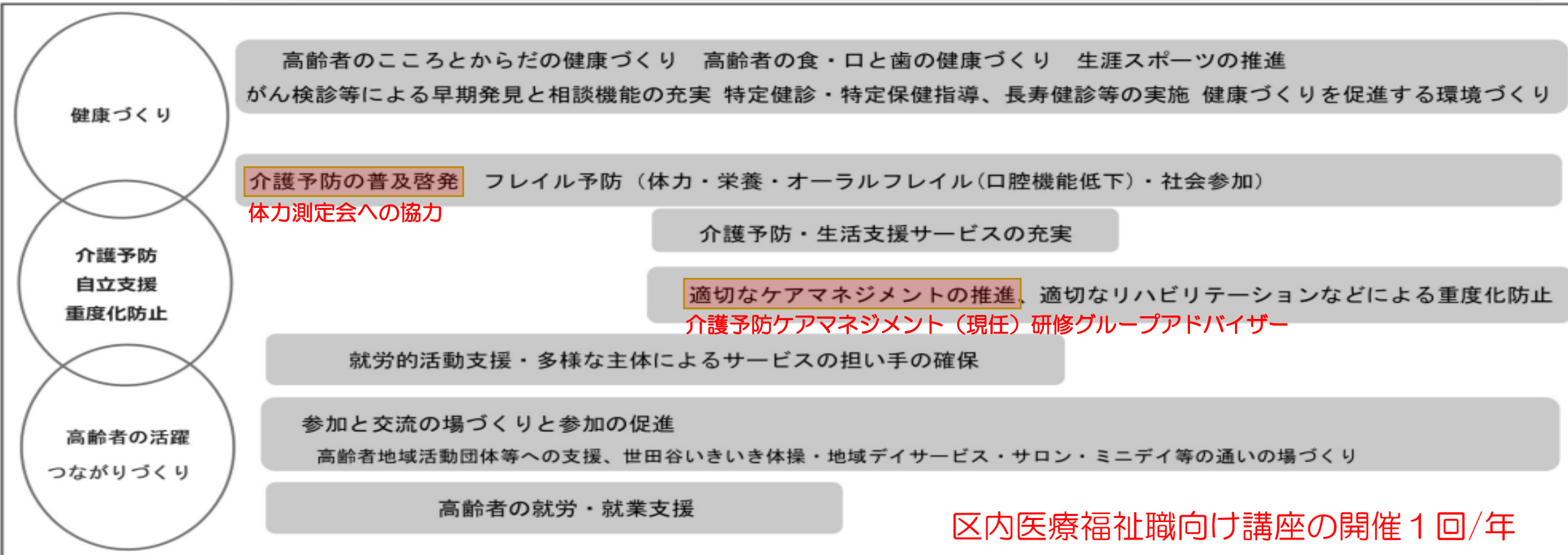
生産人口が減り高齢人口が増える中で、**介護保険事業所の統廃合により受け皿不足が進む可能性**が高く、資源の有効活用策とフレイル発現と健康寿命の延伸策が必須

- 【考え方】**
- 1 高齢者が生涯にわたり心身ともに健康でいられるよう、健康づくりと介護予防の連携による一体的な取組みを推進し、健康寿命の延伸を目指す。
 - 2 高齢者がこれまでの経験・知識を生かし、それぞれの健康状態やライフスタイルに応じて地域や社会に参加し、人と関わりながら生きがいや役割を持って活動・活躍できるよう、高齢者の社会参加を促進する。
 - 3 **PT等リハ職の派遣・育成**
地域ケア会議の活用や適切なケアマネジメントの実施などにより、自立支援・重度化防止を図る。

※区8期高齢者医療
介護計画より抜粋



【取組み一覧】



区内医療福祉職向け講座の開催1回/年

自立支援に向けた支援を検討する 地区版地域ケア会議A（2022年度69件）

目的：PT等リハ職視点を取り入れて**ケアマネジメントの質の向上**を図る

参加者：（当事者）・あんすこ職員・予防課職員・PT等リハ職・その他

地域住民(個人)についての相談内容

- 現状をどう捉えれば良いのか
- 将来に向けて必要な支援策
- 活動参加に向けた支援策

➤PT等リハ職への期待
地域住民に対してどのような
個別の課題があるかの洗い出し
と分析

リハ職による洗い出しと分析例

- 身体機能
- 食事
- 意欲
- 交流関係
- 住環境、福祉用具
- 活動・参加の場所
- 受診の勧奨
- 総合して支援内容の提案

洗い出しの範囲が
とても広い
リハ職の強み

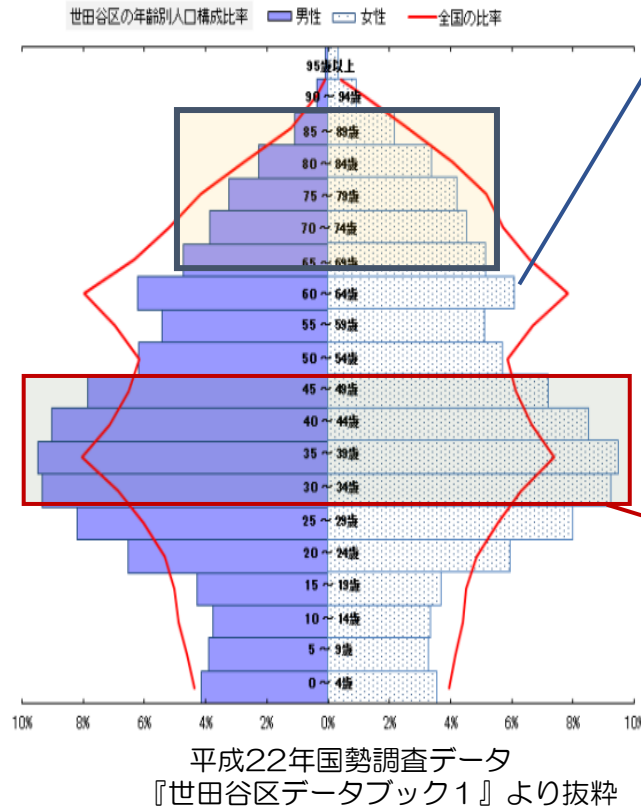
PT等リハ職の地域ケア会議Aからの学び

- ① 当事者を中心に様々な立場の支援者が集まって会議を行うことは当事者支援として非常に有効
- ② **PT等リハ職的な視点で課題の洗い出しと分析を行うことで支援の方向性が定まりやすく、資源の有効活用の視点からも効果的で効率的である**
- ③ 一同に会することは時間的制約が大きい
- ④ **参加PT等リハ職の所属事業所の理解と協力が不可欠
(第8期重点取組み 1 自立支援・介護予防・重度化予防項目)**
- ⑤ **リハビリを希望する住民の参加の場が限られ移行支援が必要**
- ⑥ **参加するリハ職の質と量の担保が必要**



提案：支援初期にPT等リハ職を活用

図表 18 人口ピラミッド 世田谷区と全国との比較



2025年
問題
団塊の世代
(現75歳
前後)

2040年
問題
次の
ターゲット
現45～
60歳

・フレイル発現の延伸

支援初期にリハ職が関わることで必要な支援を見極め、効果的で効率的な導入を図りフレイル発現を延伸する（他県で実績あり）

・健康寿命の延伸

骨関節疾患・生活習慣病（全医療費の1/3以上）のケアが必要であり、リハ職が包括的な講座を開催して健康寿命を延伸する例：腰痛予防講座

祖父母が元気であれば子育てに専念できるという意味で
2040年問題は子育て支援に直結している



公益社団法人
東京都理学療法士協会

笑顔を叶える仕事がある 理学療法士ができること

理学療法士はPhysical Therapist(PT)とも呼ばれます。ケガや病気などで身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、基本動作能力(座る、立つ、歩くなど)の回復や維持、および障害の悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法などを用いて、自立した日常生活が送れるよう支援する医学的リハビリテーションの専門職です。治療や支援の内容については、理学療法士が対象者ひとりひとりについて医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等を十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成します。

医療保険サービス

- 病院 ●診療所

介護保険サービス

- 通所リハビリテーション ●訪問リハビリテーション
- 老人保健施設 ●住宅改修・福祉用具のアドバイス
- 通所介護 ●その他

行政サービス

- 市・区役所 ●保健所 ●保健センター

福祉サービス

- 障害者福祉センター ●障害児(者)通所・入園施設
- 特定支援学級・学校

スポーツサポート

- 障害者スポーツ ●スポーツ外傷予防
- パラリンピック ●オリンピック ●トレーナー業務

研究開発事業

- 大学・大学院 ●研究所 ●理学療法関連企業

TOKYO PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION



公益社団法人
東京都理学療法士協会

〒151-0053

渋谷区代々木1-58-7ヴェラハイツ代々木201

TEL:03-3370-9035 FAX:03-3370-9036



東京都理学療法士協会

検索



叶えたい
あの人の笑顔
支えたい
あの人の想い



東京都理学療法士協会は 理学療法を通じて 都民の皆様の健康と福祉に 貢献しています。

理学療法研究推進を はかる活動

都内の理学療法士向け研修会を
実施しています。

知識・技術の向上を推進し、
質の高い理学療法提供を目指しています。

公開セミナーの実施

講習会の実施

技術研修会の実施

学術大会の開催

学術研究論文集の発行



医療・福祉の充実をはかる活動

都民に向けた各種サービスを実施し、
健康増進を目指しています。

リハビリ相談会の開催及び、体操教室の実施

地域で行われるイベントに参加し、様々な相談に対応しています。また、腰痛
や肩こり、膝痛など、自宅のできる体操を指導しています。



介護保険事業への協力

介護認定を行う『認定審査員』を推薦し、介護認定に参加しています。『介護予
防事業』『転倒予防教室』など市区町村で行っている事業に参加しています。

市民講座の開催

『脳科学について』『メタボリックシンドロームの対策』など健康に役立つ
テーマを中心に公開講座を実施しています。

研究会の開催

施設職員や家族、保護者を対象とした研修会を実施しています。



広報活動

都民に向けて、
理学療法の紹介をしています。

理学療法週間のイベント実施

「理学療法フェスタ」を開催し、業務・活動の紹介をしています。



理学療法士職場見学会の実施

理学療法士を目指す方々に対して、職場見学・相談を実施しています。



高等学校・各種職業説明会の協力

説明会の依頼に応じて、講師を派遣しています。